

# 1 ハザードマップを確認する 浸水の深さを知って、状況に応じた避難を考えよう!

串間市高潮ハザードマップは、台風の接近や高潮の災害に備えて、市民の皆さんが適切な避難行動をとれるよう、地域の危険箇所や避難所、避難時に役立つ情報などをまとめたものです。

日頃からハザードマップを確認し、「家族や地域みんなで、災害時の行動について」話し合っておきましょう!



## 高潮災害とは?! 日向灘沿岸高潮浸水想定区域(宮崎県 令和5年5月25日指定)

高潮ハザードマップに掲載する「高潮浸水想定区域」は、水防法に基づき高潮による浸水が想定される範囲、浸水深を表示したものです。高潮を引き起こす台風の中心気圧は、全国でこれまでの最大規模であった「室戸台風(昭和9年)900hPa」が想定されております。

串間市をとる台風のコースや満潮の時間帯、地形によって、さらに危険性が高まるおそれがあります。

### どんな危険があるの?!

#### 台風の進路に注意!

左側 巻き込む風  
右側 巻き込む風  
通過後「吹き返し」にも注意!

台風は、接近してくる時に風が強く、通過した後も吹き返しによる風が強くなります。

#### こんなときはさらに危険!

満潮時 潮位の上昇!

水位が高くなり流れにくい

- #### 特に注意する場所
- 河川の近くに位置していないか?
  - 河川より地盤が低い地域ではないか?
  - 日頃から、冠水していないか?
  - 排水がされにくい土地に位置していないか?
  - 道路の側溝やマンホールの近くをとっての避難は危険!
  - 海水が集まりやすい湾や入り江では満潮時は特に注意!

### 高潮が発生する主な要因

1 台風の接近 2 海岸部からの吹き寄せ 3 潮位の上昇

■ 高潮発生のおしきみ  
高潮とは、台風の接近や発達した低気圧にともなって、潮位が上昇し、海岸からの吹き寄せにより、家屋等への浸水被害が発生する現象です。近年の異常気象から台風の接近時、満潮時や海岸・河口付近の低地、入り江など海水が集まりやすいところでは注意が必要です。

台風や低気圧 風向 吹き寄せ 吸い上げ(潮位上昇) 気圧が1hPa下がる↓ 潮位1cm上昇

#### 日向灘沿岸高潮浸水想定区域 (宮崎県 令和5年5月25日指定)

想定される最大の潮位と浸水深

高潮水位(m)	2.8m (福島川河口)
	3.3m (市木川河口)
最大浸水深(m)	約5.3m (福島川)
	約3.8m (本城川)
	約5.1m (市木川)

最大潮位 3.3m (市木川河口)

最大潮位 2.8m (福島川河口)

満潮の時間と重なると潮位がさらに上昇し、被害が大きくなります。

# 2 防災気象情報の確認 避難情報の確認「住民がとるべき行動」

新たな防災気象情報(令和8年5月頃変更予定)

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
………〈警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!〉………					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

気象庁のキキクル(危険度分布)では、土砂災害・浸水・洪水の危険度が高まっている状況を表示しています。

防災気象情報(キキクル)

気象庁キキクル 検索

# 3 避難行動 ~ 早めの避難行動! ~

## 高潮浸水想定区域(浸水深の違いによる避難の方法)

<h4>0.5m未満の浸水</h4> <p>屋内の安全確保を!</p> <p>床下まで浸水</p>	<h4>3~5m未満の浸水</h4> <p>浸水しない場所に避難(避難所、高台など)</p> <p>2階まで浸水</p>
<h4>0.5~3m未満の浸水</h4> <p>逃げ遅れた場合 自宅の2階以上に避難</p> <p>1階まで浸水</p>	<h4>5~10m未満の浸水</h4> <p>浸水しない場所に 明るいうちに早めに避難</p> <p>2階以上浸水</p>

※浸水想定区域外への避難が基本

すでに外が危険な場合

時間と安全な避難経路が確保されていれば… 外が明るいうちに **必ず避難**

#### とるべき行動

あわてず、その場にとどまり安全確保

これなら外に避難しなくても大丈夫そう

地下は危険! 浸水深が低くても避難!

床下浸水

今いる建物の2階以上または 近くの安全な高い建物へ

高いところに避難!

平家から脱出

浸水しない安全な場所へ

このマークの場所へ!

とにかく早くここから避難

氾濫しそう!!

# 4 災害への心得

## 平常時の心得

- 大雨や台風の備え!
- 家のまわりの点検!
- 避難所の確認!
- 避難経路の確認!
- 非常時持出品の準備を!
- 避難する前に!
- 隣近所へ避難の連絡
- ブレーカーの確認
- 漏電に注意!

## 避難時の心得

- 動きやすい服装で!
  - 2人以上での避難!
  - 長袖、長ズボン
  - リュックサック
  - スニーカー
  - 正確な情報!
  - 早めの避難!
  - 車の避難は冠水に注意!
  - 明るいうちに徒歩で避難を!
- 車の避難は危険! 30cmの浸水で走行困難